

小郡市人権センター通信

Vol.28
H29.5.15

「地域と育てる みんなの学校」

～すべての子どもが安心できる居場所をつくるために～

きむら やすこ
【講師】木村 泰子さん 大阪市立大空小学校初代校長

昨年12月の人権週間記念上映会「みんなの学校」の大空小学校初代校長の木村泰子さんが小郡市に来られます！
今回の公開講座はヒタ人権考座と合同開催です。



【プロフィール】

- 2006年に開校した大阪市立大空小学校初代校長。2015年春に退職。
- 現在は全国各地で講演活動、取材対応などで多忙な日々。
- 著書：『「みんなの学校」が教えてくれたこと』小学館
『21世紀を生きる力』水王舎



■日時：平成29年6月6日（火）19：30～21：00

■会場：小郡市人権教育啓発センター（大集会室）

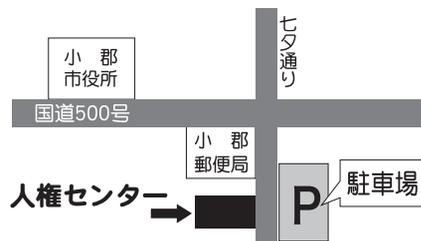
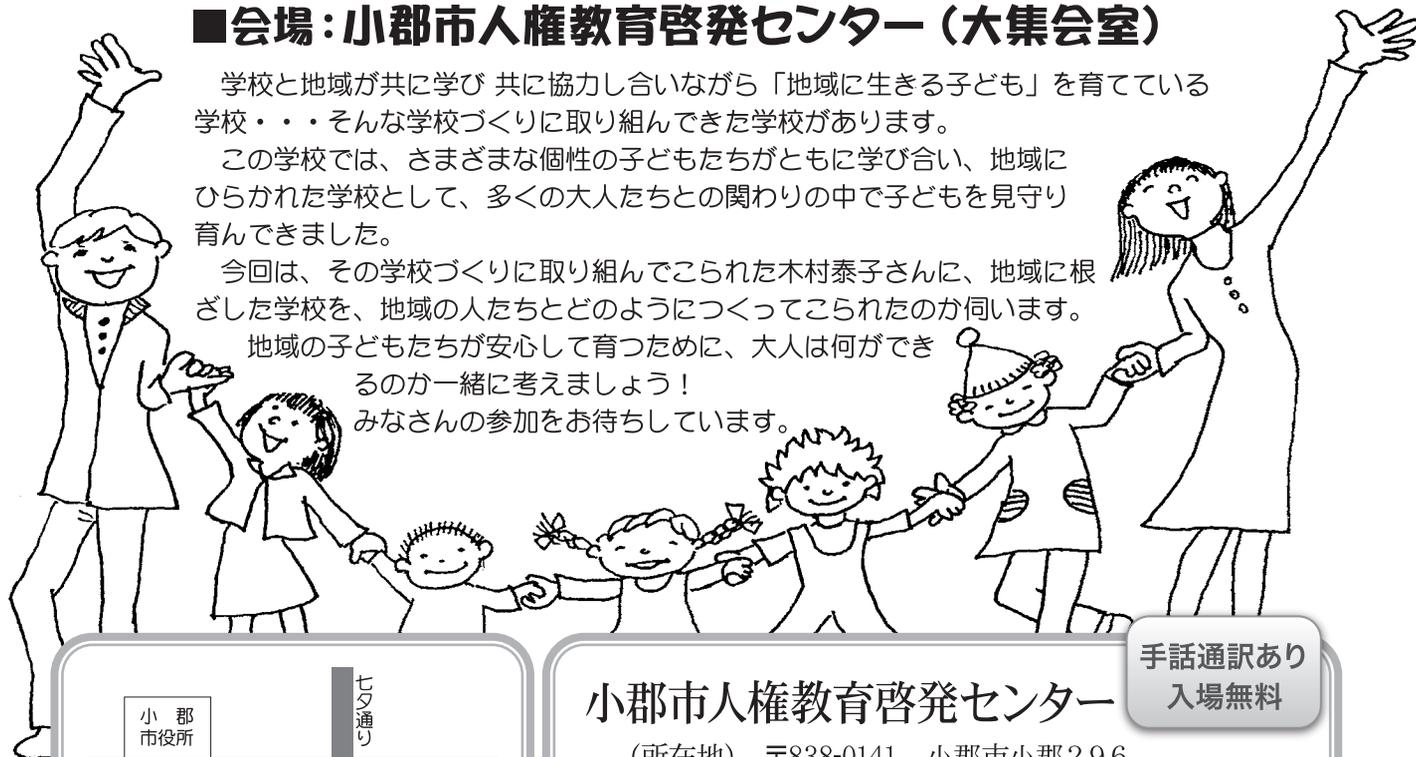
学校と地域が共に学び 共に協力し合いながら「地域に生きる子ども」を育てている学校・・・そんな学校づくりに取り組んできた学校があります。

この学校では、さまざまな個性の子どもたちがともに学び合い、地域にひらかれた学校として、多くの大人たちとの関わりの中で子どもを見守り育んできました。

今回は、その学校づくりに取り組んでこられた木村泰子さんに、地域に根ざした学校を、地域の人たちとどのようにつくりだされたのか伺います。

地域の子供たちが安心して育つために、大人は何ができるのか一緒に考えましょう！

みなさんの参加をお待ちしています。



小郡市人権教育啓発センター

手話通訳あり
入場無料

(所在地) 〒838-0141 小郡市小郡296
(電話&FAX) 0942-80-1080 (直通)
(Eメール) dotai@city.ogori.lg.jp
(ホームページ) <http://www.city.ogori.fukuoka.jp/>
【ホーム>観る・学ぶ・人権>人権教育啓発センター】

～地域とともにある 学校づくり～

・・・小郡市では、子どもたちの健やかな成長のため、
学校支援ボランティア活動を推進しています。・・・



●学校支援ボランティアとは

⇒地域の方が持つ様々な特技や趣味などを生かし、学校教育を支援していただく無償のボランティアです。

●学校支援ボランティアってどんなことをするのですか？

● 教育活動支援 ●

- ・本の読み聞かせ
- ・地域の歴史・昔遊びなど
- ・田植え

● 教育環境整備支援 ●

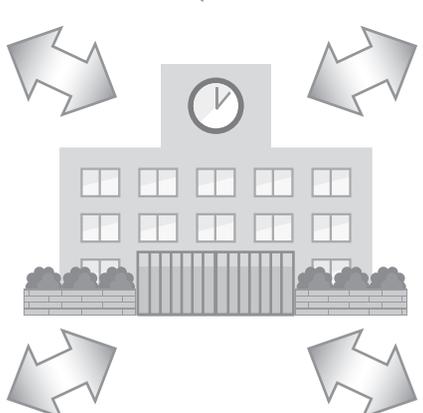
- ・花壇整備・植木剪定・障子張替え
- ・学校施設整備（児童靴箱補修）・図書館資料整備など

● 学校安全支援 ●

- ・登下校時のあいさつ運動
- ・通学路見守り・登校集合場所での見守りなど

● 教師の補助 ●

- ・学習プリント丸付け
- ・校外学習引率
- ・ミシン操作・手縫い補助など



学校支援ボランティア活動が生み出す様々な効果

子どもたちにとって



- ・地域の大人とふれ合い
⇒地域の一員としての自覚が深まる
- ・多様な経験
⇒生きる力が育つ

学校にとって



- ・教育活動の充実
- ・子どもと向き合える時間の確保ができる

地域にとって



- ・経験や特技を生かす場
- ・地域のきずなが強まる
- ・地域の活性化

～問合せ先～

○小郡市学校支援地域本部○（大原小学校内）
TEL 080-9063-9675
FAX 42-6711
Eメール ogori-school-shien@cap.bbiq.jp
活動日 月・火・木・金（祝日除く）
8:30～12:30

「部落差別の解消の推進に関する法律」が制定されました!

📎 同和問題（部落差別）とは？

- かつて国内で形成された身分制度をもとに就職を断られたり、結婚を妨げられたり、その他日常生活で受けている様々な差別のこと。
- これまでの取り組みにより、環境の改善は進んだが、身元調査のため戸籍や住民票を不正に取得されたり、差別を助長する内容の落書きが相次いだり、インターネット上で住所や氏名をあばこうとする事件が起こるなど、新たな問題も発生している。
⇒ 新たな法律による同和問題（部落差別）の解消が求められていた。

📎 「部落差別の解消の推進に関する法律」（部落差別解消推進法）とは？

- 2016（平成28）年12月9日に国会で成立、同月16日に公布・施行
- 「部落差別」という言葉が初めて明記された法律
- 「部落差別は許されないものである」との認識の下に、その解決のための基本理念と国や地方自治体の責務を定めている。
⇒ 国と地方自治体は部落差別の解消のため、相談体制の充実や教育及び啓発等の取り組みを進める。

部落差別解消推進法（全六条）のポイント

第1条 今もなお部落差別が存在し、情報化の進展に伴ってその状況に変化が生じていることを踏まえた上で部落差別のない社会の実現を目的とする。

第2条 部落差別の解消に関する施策は、全ての国民が等しく基本的人権を享有するかけがえない個人として尊重されるものであるとの理念にのっとり。

第3条 国は施策を講じる責務を有し、自治体は地域の実情に応じた施策を講じるよう努める。

第4条 国は自治体と共に相談体制の充実を図る。

第5条 国は自治体と共に必要な教育・啓発を行う。

第6条 国は相談体制の充実、教育・啓発の実施に資するため、部落差別の実態調査を行う。

・・・人権でつなぐまちづくり・・・

現在も部落差別によって悩み、苦しい思いをしている方がいます。その思いを知り、同和問題を正しく理解するために、人権センターでは啓発DVDや図書を揃えています。

部落差別のない一人ひとりの人権が尊重される社会の実現に向けて、自分自身の人権意識を高めよう行動すればよいのと一緒に考えましょう！

人権センター ライブラリー



同和問題とは一体どのような問題なのか、
どうしてこのような問題が存在し、何故
なくならないのか。

同和問題を正しく理解し、同和問題を
解決するためにはどうすればよいのか。

このDVDは、自らの差別体験を語る
シリーズで、当事者の思いを知ること
ができます。



(DVD)

《テーマ》 同和問題
《上映時間》 25分～30分

人権センター 図書・ビデオ利用について

- ①貸出数……1回につき 5冊 (本)
- ②貸出期間…2週間
- ③手続き……貸出簿に必要事項記入

(図書)



本書は、ドキュメンタリー映画『みんなの学校』の舞台となった大阪市の公立小、大空小学校の初代校長として「奇跡の学校」をつくり上げてきた、木村泰子さんの初の著書です。大空小の子どもたちと教職員、保護者、地域の人々が学び合い、成長していく感動の軌跡をたどりながら、今の時代に求められる教育のあり方に鋭く迫ります。

2016年4月に「障害者差別解消法」が施行され、1年がたちました。障がい者に関わる意識も進んできたように見えますが、一方で障がい者を排除しようとする意識もその深さを増しているようです。

障がいを持つ当事者の思いや障がい者の人権について考えてみませんか？

(図書)



★このほかにも、様々な人権問題をテーマにした図書やDVDを揃えています。
★皆様のご利用をお待ちしています。